

サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワークを利用した 融資契約締結について

日本トムソン株式会社（代表取締役社長：宮地茂樹、以下「当社」）は、サステナブルファイナンスの取り組みとして、サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）を利用したサステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による融資契約（以下「本契約」）を3つの金融機関と締結いたしました。

■本フレームワークを活用し本契約を締結した金融機関

2024年11月	株式会社北陸銀行
2024年11月	株式会社みずほ銀行
2024年11月	株式会社三菱UFJ銀行

（五十音順）

SLLは貸し手と借り手が協議の上、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」）を設定し、融資条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスを連携させ、SPT達成への動機付けを借り手に与えることで、環境・社会的に持続可能な経済活動および経済成長の促進を目指す枠組みです。

本契約においては、以下のSPT達成状況に応じて利率が変化します。

KPI	Scope 1 および Scope 2 における温室効果ガス排出削減率
SPT	2030年度までに Scope 1 および Scope 2 における温室効果ガス合計排出量 42% 削減に向けた、2025年度以降の各年度の削減目標（基準年度：2022年度）

当社は、経営理念である「社会に貢献する技術開発型企業」を基本とし、企業活動を通じた持続的成長と社会の持続可能性の両立を実現するために、サステナブル経営を推進しています。様々な社会課題に対し当社グループの事業に係る6つのマテリアリティを特定し、そのマテリアリティの達成に向け、資金調達面においてもサステナビリティ課題との関連性を高めることに取り組んでいます。

本契約を通じて、サステナビリティ経営のさらなる推進に取り組み、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指してまいります。

なお、本フレームワークは、今後も各金融機関と同様のサステナビリティ活動の進捗に基づく資金調達に活用いたします。

【参考リンク】

サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク

<https://www.ikont.co.jp/pdf/20240808.pdf>

以上